

新完全マスター 読解

日本語能力試験 N2



田代ひとみ・中村則子・初鹿野阿れ・清水知子・福岡理恵子 著

- 「対比」「言い換え」など、読み取りのポイントを提示。
- 広告・ビジネス文書など実用的な文章(情報素材)が豊富。
- 「文章全体の主旨や目的をつかむ力」と「文章の細かい部分を読み取る力」が身につく。 **スリーイーネットワーク**

はじめに

日本語能力試験は、1984年に始まった、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験です。受験者が年々増加し、現在では世界でも大規模な外国語の試験の一つとなっています。試験開始から20年以上経過する間に、学習者が多様化し、日本語学習の目的も変化してきたため、2010年に新しい「日本語能力試験」として内容が大きく変わりました。新しい試験では知識だけでなく、実際に運用できる日本語能力が問われます。

本書はこの試験のN2レベルの読解問題集として、以下の構成で作成しました。

実力養成編

第1部 評論・解説・エッセイなど

第2部 広告・お知らせ・説明書きなど

試験に出題されると思われるさまざまな形式の文章を、第1部、第2部に分けて取り上げました。文章一つに問いは一つです。焦点を絞って読む練習ができます。

第3部 実戦問題

第1部・第2部で練習した形式以外の、実際の試験に出題される形式の問題を並べました。これらの問題を解くことによって試験形式に慣れることができます。

模擬試験

実際の試験と全く同じ形式の模擬試験問題です。時間を計りながら読解問題を解いてみると、本番でどのように取り組みればいいか、心構えができます。

■本書の特徴

- ①基礎的な読みのポイントを紹介します。その後、そのポイントの練習をします。
- ②例題の解説は記号などを用いて、簡潔にわかりやすく説明してあります。練習問題については、詳しい解説を別冊につけました。
- ③新試験で出題されるお知らせ、説明書き、広告など実用的な文章も多く練習します。

本書が日本語能力試験の受験に役立つと同時に、日本語を使って学習・生活・仕事をする際の手助けにもなることを心から願っています。

著者

目次

はじめに

本書をお使いになる方へ..... vi

実力養成編

第1部 評論・解説・エッセイなど

1. 文章のしくみを理解する
—文章全体の意味をとらえる練習
1) [対比] ほかのものと比べる.....4
2) [言い換え] ほかの言葉で言い換える.....14
3) [比喩] ほかのものにととえる.....22
4) [疑問提示文] 疑問文を使って話題を提示する.....26
5) [主張表現] 自分の意見であることを示す.....32
2. 問いを解く技術を身につける
—文章の細かい部分を正確に読み取る練習
1) 指示語を問う.....38
2) 「だれが」「何が」「何を」などを問う.....46
3) 下線部の意味を問う.....52
4) 理由を問う.....58
5) 例を問う.....68

第2部 広告・お知らせ・説明書きなど

1. 全体をつかむ—全体的な内容を尋ねる問い.....76
2. 情報を探し出す—部分的な内容を尋ねる問い.....86
 - 1) 広告.....86
 - 2) お知らせ.....94
 - 3) 説明書き.....106
 - 4) 表・リスト.....116

だい ぶ じっせん もん だい
第3部 実戦問題

1. 内容理解 (中文)	124
2. 主張理解 (長文)	132
3. 統合理解	147
4. 情報検索	161

も ぶ し げん 模擬試験	181
------------------	-----



かいとう かいせつ
解答と解説

ほんしよ　つか　かた 本書をお使いになる方へ

■本書の目的

ほんしよ　い　か　てん　おお　もくてき
本書は以下の2点を大きな目的としています。

- ①日本語能力試験N2対策：N2の試験に合格できる力をつける。
- ②「読解」能力の向上：試験対策にとどまらない全般的な「読解」の力をつける。

■日本語能力試験N2読解問題とは

ほんしよ　ご　のうりよく　しげん　げん　ご　ちしき　どつかい　しげん　じかん　ぶん　なうかい　しげん　じかん　ぶん　ふたつ
日本語能力試験N2は、「言語知識・読解」（試験時間105分）と「聴解」（試験時間50分）の二つに分かれており、読解問題は「言語知識・読解」の一部です。

どつかい　もん　だいい　い　か　いつ　ぶ　ぶん　わ
読解問題はさらに以下の五つの部分に分かれます。

- 1 内容理解(短文) 5問(200字程度の短文に1問×5題)
- 2 内容理解(中文) 9問(500字程度の中文に3問×3題)
- 3 統合理解 2問(合計600字程度の複数の文章に2問×1題)
- 4 主張理解(長文) 3問(900字程度の長文に3問×1題)
- 5 情報検索 2問(700字程度の広告・パンフレットなどに2問×1題)

ただし、問題数は変更される場合があります。

■本書の構成

ほんしよ　ご　のうりよく　しげん　ごうかく　のうりよく　み　と　ほんしよ　ぶん
本書では、上で紹介した日本語能力試験に合格できる能力を身につけられるように、日本語の文章や情報素材を読む練習を少しずつ重ねていく構成になっています。

じつりよく　ようせい　へん 実力養成編

だい　いち　ぶ　ひりやう　ん　かい　せつ
第1部 評論・解説・エッセイなど

1. 文章のしくみを理解する
2. 問いを解く技術を身につける

だい　に　ぶ　こうこく　し　せつ　めい　が
第2部 広告・お知らせ・説明書きなど

1. 全体をつかむ
2. 情報を探し出す

だい　さん　ぶ　じつせん　もん　だいい
第3部 実戦問題

も　ぎ　し　げん 模擬試験

だい　いち　ぶ　から　だい　さん　ぶ　まで、れい　だい　の　あと　に　れんしゅう　が　あります　ので、まな　だ　こと　を　もと　に　もん　を　か　いて　み　ま　しょう。以下に詳細を説明します。

第1部は、評論・解説・エッセイなどの文章を取り上げており、二つの部分からなります。

1. 文章のしくみを理解する
2. 問いを解く技術を身につける

1. 文章のしくみを理解する—文章全体の意味をとらえる練習

ここでは、文章のしくみを理解する練習をします。

外国語の文章を読むときは、細かい点に気をとられていると、どうしても全体で何が述べられているのかまで注意が向かないことがあります。そこで、この本ではまず、文章全体で筆者が何を言おうとしているのかに注意を向けて読む練習をします。

N2レベルの能力試験を受験しようとする人たちの中には、日本語を読むことが得意ではない人、難しい漢字があると理解ができない人など、さまざまな人がいると思います。また、「文章の部分的な質問には答えられるが、全体で何を言っているのかわからない」という人もいます。

そのような人にもわかりやすくポイントを示すため、例題では文章のしくみを図や記号を用いて解説しました。

- 1) [対比] ほかのものと比べる
- 2) [言い換え] ほかの言葉で言い換える
- 3) [比喩] ほかのものにたとえる
- 4) [疑問提示文] 疑問文を使って話題を提示する
- 5) [主張表現] 自分の意見であることを示す

こうしたしくみに気づくと、文章が理解しやすくなります。読むことが得意な人も、文章をより速く、より正確に理解することができるでしょう。

2. 問いを解く技術を身につける—文章の細かい部分を正確に読み取る練習

ここでは、実際の試験でよく問題に出される、以下のような形式の問いを取り上げ、それに答える技術を紹介し、練習します。

- 1) 指示語を問う
- 2) 「だれが」「何が」「何を」などを問う
- 3) 下線部の意味を問う
- 4) 理由を問う
- 5) 例を問う

細かい部分を考えることにより、文章を正確に理解できるようになります。

第1部は、日本語能力試験の「内容理解(短文)」のための練習になります。また、「内容理解(中文)」を読むための基礎練習にもなります。